

就活

みやまちゃん

Good Job

業界まるわかり

建設業

ビルや住宅の建築や、道路や橋を整備する土木など日々の暮らしと密接に結びついている建設業。国内の建設投資は1992年度の83兆9708億円をピークに下降線をたどっていたが、近年は東日本大震災などの災害復興事業の増加や、東京五輪・パラリンピックに向けた建設ラッシュが数字を押し上げる。国土交通省は2019年度の投資額を前年度比3.4%増の62兆9400億円と見通す。

新規建設だけでなく、道路や下水道などインフラの維持管理の需要も高まる。18年度、国内の維持管理・更新費の推計は約5兆2000億円だが、38年度は6兆～6兆6000億円まで増加する見込み。高度経済成長期に整備した、更新時期を迎える施設の増加が要因で、建設業の果たす役割はさらに大きくなる。

一方、懸念されているのが担い手の減少だ。19年の建設業の就業者数は

499万人で、ピークの1997年と比べ27.1%減った。

476社が加盟する県建設業協会の調べでは、県内の技術系社員の約8割が40歳以上。熟練技術者の高齢化が進み、技術の承継も課題といえる。

担い手不足対策に加え、生産性向上策としても期待されるのが情報通信技術（ICT）の活用だ。国も建設現場にICTを導入する「i-Construction（アイ・コンストラクション）」を推進する。

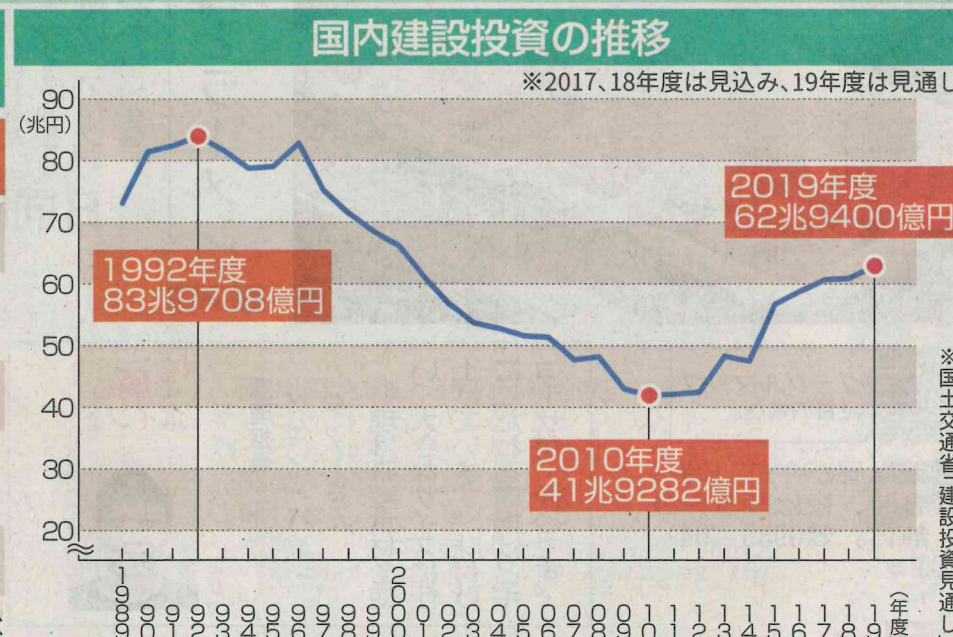
同協会によると、県発注の土木工事格付けで「特A」ランクの50社で特にICT化が浸透。旭建設（日向市）は、小型無人機「ドローン」を使った測量などを手掛ける専門部署「ICT施工推進室」を設置。また、岡崎組（宮崎市）は、ドローンや自動制御の重機などを活用した施工案件を増やし、若手や女性の人材獲得に取り組んでいる。

（西村公美）

ICT使い生産性向上

順位	社名	所在地	売上高(百万円)
1	森崎建設工業	日向市	23,132
2	吉原建設	都城市	19,530
3	九南	同	15,180
4	向陽プラントサービス	延岡市	10,213
5	大淀開発	都城市	9,047

※帝国データバンク宮崎支店調べ



※国土交通省「建設投資見通し」

若手の やりがい



永野建設(日南市)

塚本 瑠奈さん(23)

ものづくりへの興味から建設業に飛び込み、入社後2年間は県産業開発青年隊で土木建設の基礎を学びました。現在は日南市北郷町の治山工事の現場代理人をしています。天候の影響で思うように工事が進まない

完成の達成感は最高

こともありますが、完成時の達成感は何事にも代え難いです。工程管理や提出書類の作成など体力を必要としない業務も多く、女性も活躍は可能。自分が携わったものを誇れる技術者になりたいです。

調査員の目
帝国データバンク
宮崎支店調査課長
小倉 祐一氏



11月開業のアミュプラザみやざきのように、自分が関わった仕事が残るのが面白さ。

規模の大きい建物はゼネコンと呼ばれる総合建設業者と、基礎部分や内装、設備などを施工する専門業者によって造られる。本県でもビルやダム、災害復旧など大きな工事に関われる。

多くの従事者とともに一つのを造り上げるため、コミュニケーション力は必要。専門知識や技術を習得すれば、設計や建設現場での監督業務などでさらに活躍の幅が広がる。人命に関わるため資格取得は難しいが、やりがいは大きいはずだ。